

## ＴＰＰ交渉に関する説明会

○日時：平成２６年３月５日（水）１０：３０～

○場所：中央合同庁舎４号館 ２階２２０会議室

○議事次第：

- １．ＴＰＰ交渉の状況について説明
- ２．意見交換

○資料：

- １．シンガポール閣僚会合の結果概要
- ２．共同プレス声明 ＴＰＰ閣僚会合（仮訳・原文）

平成２６年３月５日

内閣官房ＴＰＰ政府対策本部

## TPPシンガポール閣僚会合の結果概要

内閣官房TPP政府対策本部

- 2月22～25日、シンガポールでTPP閣僚会合が開催され、我が国からは甘利経済再生担当大臣が出席した。
- 今回の閣僚会合では、各分野に残された課題の解決を目指し、SPS、投資、金融サービス、法的・制度的事項、国有企業、電子商取引、市場アクセス（物品、繊維、サービス・投資、金融サービス、政府調達、一時的入国）、原産地規則、貿易円滑化、知的財産について全体会合で議論を行った。
- また、全体会合に加え、マレーシア、ベトナム、オーストラリア、ブルネイ、シンガポール、米国、カナダ、ペルー、ニュージーランド、メキシコとのバイ会談も行い、二国間の懸案事項について協議を行った。
- ルール分野については、これまで難しい課題が残されていた分野を含め、多くの分野で大きな進展があった。また、交渉官に対し、課題の解決へ向けた具体的指示が出された。
- 市場アクセスについては、各国が二国間交渉を通じ、物品だけでなく、サービス、投資、政府調達、一時的入国など市場アクセス全般にわたって精力的に交渉を進めた。我が国も、すべての国と二国間交渉を行い、実質的な協議を進めた。

- 農産品のいわゆる「重要5品目」については、一連の二国間交渉や全体会合の場で、我が国には衆参農水委員会の決議があり、センシティブティがあることを粘り強く説明し、各国の理解を求めた。
- また、TPPは、モノの関税撤廃だけではなく、サービス、投資、政府調達、一時的入国といった市場アクセス全般、更にはルール分野も含めた幅広い交渉であり、交渉分野全体で、包括的でバランスのとれた合意を目指すべきだという我が国の考え方を繰り返し強調した。
- 日米間では、甘利大臣とフロマン代表が二度にわたり会談を行い、その間、事務レベルでも折衝を続けた。双方の立場にはまだ隔たりがあるが、閣僚同士の会談を通じて議論が深まった。日米間の懸案の解決へ向け、事務レベルで引き続き折衝を続ける。
- 今次会合を通じ、各国が抱える政治的困難に配慮しながら、アジア太平洋地域に21世紀型の新たな経済統合協定を共に作るという共通の機運と信頼関係が醸成された。交渉は最終局面を迎えており、我が国としては、早期妥結に向け、引き続き関係国とともに最大限努力していく。

(以 上)

共同プレス声明 TPP閣僚会合（仮訳）  
於：シンガポール  
2014年2月22-25日

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナムの閣僚及び代表は、シンガポールにおいて4日間の閣僚会合を終えたところであり、最終的な協定に向けた更なる躍進を遂げた。

我々は、前回の閣僚会合で特定された着地点の大部分について合意した。いくつかの論点が残っているものの、我々は、包括的でバランスの取れた成果を目指す観点から、これらの課題を解決するための道筋を示した。また、広範な二国間会合を通じて、我々は、残りの作業の重要な部分を占める市場アクセスについても進展させており、市場アクセスの全分野に渡る野心的なパッケージの完成に向けた作業を継続する。

今回の会合を受けて、我々は、残された課題について各国国内で協議を行う。

我々は、昨年10月にバリで首脳から指示された通り、2011年にホノルルで設定された目標の達成に向けた協定について、できる限り早期に結論を得るために努力している。我々は、TPP参加各国において、国民の雇用、企業のコモニティ、経済成長、発展を創出するような協定を実現するために必要となる相当な水準の努力を注ぐ。

**JOINT PRESS STATEMENT - TPP MINISTERIAL**  
**SINGAPORE, 22-25 FEB 2014**

We, the Ministers and Heads of Delegation for Australia, Brunei Darussalam, Canada, Chile, Japan, Malaysia, Mexico, New Zealand, Peru, Singapore, United States, and Vietnam, have just completed a four-day Ministerial meeting in Singapore where we made further strides toward a final agreement.

We have agreed on the majority of the landing zones identified at our last meeting. While some issues remain, we have charted a path forward to resolve them in the context of a comprehensive and balanced outcome. Through extensive bilateral meetings, we have also made progress on market access, which is an important part of our remaining work, and we will continue working toward completion of an ambitious package across all market access areas.

Following this round of talks, we will return to our capitals to undertake consultations on the outstanding issues.

We are committed to concluding as soon as possible an agreement that achieves the goals established in Honolulu in 2011, as instructed by our leaders in Bali last October. We will invest the considerable level of effort that is required to deliver an agreement that will create jobs for our citizens, opportunities for our businesses, and economic growth and development in each TPP country.